

Akamatsu, T., Wang, D., Nakamura, K., and Wang, K. 1998.

Echolocation range of captive and free-ranging baiji (*Lipotes vexillifer*), finless porpoise (*Neophocaena phocaenoides*), and bottlenose dolphin (*Tursiops truncatus*)^{注1}.

Journal of the Acoustical Society of America 104: 2511-2516.

日本語タイトル

野生ヨウスコウカワイルカ、スナメリ、ハンドウイルカのエコーロケーション
範囲

要旨日本語訳

飼育イルカのクリック音間隔は、イルカと対象物間を音が往復する時間よりも長いことで知られる。本研究では、野生下と飼育下のヨウスコウカワイルカ、スナメリ、ハンドウイルカのクリック音間隔を比較した。クリック音間隔は、野外では100-200ミリ秒に達したのに対し、飼育下では4-28ミリ秒ほどであった。野生イルカのエコーロケーションは、ナビゲーションや測距において様々な距離に適応しているようで、それは時に140mに達する。加えて、最大エネルギーの周波数とクリック音の持続時間において、種間の波形特性の違いが認められた。

注1: 1998年当時、御蔵島に生息するイルカはハンドウイルカ(*Tursiops truncatus*)と考えられていました。

訳者: 酒井麻衣 翻訳日: 2012年5月17日

※日本語要旨は第一著者の承諾の元に作成しました。訳者が第一著者と同一でない場合、訳文に責任は持てませんので、正確な情報が入り用の場合は、原文をご覧ください。